令和８年度柏市保健衛生審議会会議録

１　開催日時

令和８年１０月８日（木）午後２時００分から午後４時２０分まで

２　開催場所

ウェルネス柏４階研修室

３　出席者

【委員】

龍野会長，松倉副会長，大宅委員，根本委員，樋口委員，増尾委員，町屋委員，村上委員，森委員，山野辺委員，吉川委員

【事務局】

井内保健所長，浅野総務企画課長，荒巻保健予防課長，沖本生活衛生課長，芳川動物愛護ふれあいセンター所長，赤池衛生検査課長

（総務企画課）

小山課長補佐，廣瀬係長，安中主事

（生活衛生課）

朽木係長

（動物愛護ふれあいセンター）

飯田課長補佐，田中主事

（衛生検査課）

高野課長補佐，池上課長補佐

４　次第

(1) 開会挨拶

(2) 委員紹介

(3) 会長・副会長の選出

(4) 議事

ア　保健所各課の取組みについて

イ　「柏市人と動物の共生未来ビジョン」について

(5) 閉会

5　内容

(1) 開会挨拶

審議会委員の出席が過半数を満たしたため，事務局から会議が成立したことを報告。会議の開会を宣言した。

井内保健所長から開会の挨拶。

(2) 委員照会

委員から自己紹介。事務局については【資料1柏市保健衛生審議会委員名簿】により紹介。

(3) 会長・副会長の選出

龍野委員が会長に，松倉委員が副会長に選出された。両名から就任の挨拶が行われた。

(4) 議事

ア　保健所各課の取組みについて

【資料3－1柏市保健所の役割と業務内容】，【資料3－2各部署の取り組み一覧】，【資料3－3柏市保健所事業年報（令和7年度）】，【資料3－4健康危機管理体制について】及び【資料3－5千葉県結核・感染症週報】に基づき，事務局から説明。その際に出された意見・質疑は次のとおり。

（森委員）

・千葉県豪雨等による冠水被害に伴い，飲み水の安全性確認（井戸水等の水質検査）に関する保健所の役割を市民へ周知してはどうか。

・永楽台地域で大雨によって貯水槽に水が溜まり，ボウフラ

発生の懸念があるが，清掃等の対応はどうすればよいか。

（事務局：沖本生活衛生課長）
・冠水した飲用井戸に対しては，健康被害防止のため無料の水質検査を実施し，市ホームページで案内している。貯水槽については後日個別に回答する。

（山野辺委員）
・柏まつりでの約３００件の露店開設届に対し，保健所職員に１軒ずつ丁寧な指導をしていただいたことに感謝する。

（樋口委員）
・報道でＰＦＡＳが話題だが，柏市内の状況はどうか。

（事務局：沖本生活衛生課長）
・下総航空基地周辺の水質で基準値を超過している。また，飲まないよう飲用指導している。この他，国に対応基準を定めるよう要望書の提出に向け，準備を進めている。

（松倉副会長）
・麻布十番の祭りでの食中毒事案を踏まえ，柏まつりでは保健所として特別な対応やルール作りを行ったか。

（事務局：沖本生活衛生課長）
・食品衛生協会と同伴で巡回し，衛生管理の注意喚起を行った結果，食中毒や有症苦情は発生していない。

（事務局：井内保健所長）
・通常の対応を行っている。祭り限定の店舗に対して，毎年巡回指導している。

（増尾委員）
・模擬店は「届出制」のため，保健所の販売中止指導（冷やしきゅうり等）を無視して営業するケースが散見される。届出制のリスクに対する市の対応を伺いたい。

（事務局：沖本生活衛生課長）
・衛生指導の徹底など，リスク管理について今後改善を図る。

（龍野会長）
・市民側も食中毒予防や衛生管理の正しい知識を持つことが必要である。

（村上委員）
・保健所各課の多岐にわたる業務を知り，夜遅くまで勤務する職員に改めて感謝する。

（町屋委員）
・食中毒等の調査時，動物や動物施設との接触歴は確認しているか。
・精神保健福祉の訪問事業において，ゴミ屋敷状態等のデータは蓄積しているか。

（事務局：沖本生活衛生課長）
・食中毒調査では行動歴や喫食歴全体を徹底的に調べるため，その中で動物との接触が挙がるケースもある。

（事務局：荒巻保健予防課長）
・感染症ごとにリスクに応じた調査を実施している。精神保健事業におけるゴミ屋敷に特化したデータ収集は行っていない。

（町屋委員）
・ゴミ屋敷はセルフネグレクトにも繋がるため，データの蓄積をお願いしたい。

（大宅委員）
・動物愛護ふれあいセンターは貴重な施設であり，譲渡会や防災訓練等を通じて本来の存在意義を周知することが重要である。
・獣医師会としてもＳＦＴＳ等の人獣共通感染症の情報共有や，災害時の同行避難に向けた連携を進めたい。
・「殺処分ゼロ」は重要だが，収容限界や動物の苦痛を考慮すると安楽死も視野に入れる必要があり，管理する職員のメンタルケアも共有すべき課題である。

（事務局：芳川動物愛護ふれあいセンター所長）
・関係団体や獣医師会と連携し，市民の安心に向けた取組みを強化する。

（吉川委員）
・ＨＩＶ検査（年１２回，約５００件）の患者の費用負担はどうか。
・多様化するペットからの感染症（ＳＦＴＳ等）や小動物の咬傷等への対応方針を検討してほしい。

（事務局：荒巻保健予防課長）
・ＨＩＶ検査は無料かつ匿名で実施可能であり，今後も希望者が検査を受けやすい体制を考えていく。
・人獣共通感染症については，国の監視システムに基づき，千葉県と情報共有しながら進める。

（龍野会長）
・新興感染症発生時の検体等の相談窓口はどこか。

（事務局：荒巻保健予防課長）
・保健所へご相談いただき，千葉県や国立感染症研究所と相談しながら対応を進める。

（根本委員）
・大雨による浸水被害で病院内に汚水が溢れた際，適切な消毒方法や運営再開に向けた相談先が分からなかった。市から周知を図ってもらいたい。

（事務局：沖本生活衛生課長）
・災害時は市のコールセンターにご相談いただきたい。市ホームページにも消毒や感染症対策等の情報を掲載している。

（根本委員）
・コールセンターは一般家庭だけでなく事業所や病院からも利用可能か。

（事務局：井内保健所長）
・初期窓口として利用可能。病院関係はＥＭＩＳ（広域災害救急医療情報システム）も活用し，国や県等の支援体制へ繋げていただきたい。

（松倉副会長）
・毎年の医療機関立入検査の際に，被災時の相談先や対応方法について情報提供をお願いしたい。

（事務局：井内保健所長）
・提供方法を検討し，立入検査時の情報交換を密にする。

（松倉副会長）
・新型コロナ対応の経験（好事例や反省点）を記録として残し，新興感染症発生時に速やかな初動体制が組めるよう繋げ

てほしい。

（事務局：井内保健所長）
・コロナのような感染症に対して，将来にわたって機能する初動対応体制の整備を進めたい。

（龍野会長）
・感染症の検査件数等の経年変化データが分かると良い。また，市内の助産師減少傾向について市の見解を伺いたい。

（事務局：井内保健所長）
・本日は用意していないが，必要に応じてまとめる。柏市は人口や子供も多く，産婦人科が目に見えて減少している状況ではないが，今後のデータ提示を検討する。

イ　「柏市人と動物の共生未来ビジョン」について

【資料４－１柏市人と動物の共生未来ビジョンの策定について】及び【資料４－２柏市人と動物の共生未来ビジョン（案）】に基づき，事務局から説明。その際に出された意見・質疑は次のとおり。

（森委員）
・高齢者の入院等に伴うペットの飼育困難問題への対応や，「殺処分ゼロ」のさらなるアピールをお願いしたい。

（大宅委員）
・高齢者のペット問題は人の福祉にも直結するため，ボランティアの協力とアピールが不可欠である。

（町屋委員）
・多頭飼育問題等は動物のネグレクトだけでなく，子供や高齢者へのネグレクト，セルフネグレクト等の社会問題にも繋

がるため，動物分野と人の福祉分野の連携が必要不可欠である。

・人と動物の健康は切り離せないため（ワンヘルス），地域社会の繋がりを重視した「ワンウェルフェア」の視点を取り入れ，ビジョンの実現に向けた人材と予算の確保をお願いしたい。

（事務局：芳川動物愛護ふれあいセンター所長）

・委員の皆様からの意見を踏まえ，関係部局と連携しながらビジョンの実現に向けて取り組む。

(5) 閉会

本日の議事は要旨をまとめ，柏市ホームページに公開される旨を周知し，事務局は，閉会を宣言した。

6　傍聴

傍聴者０人